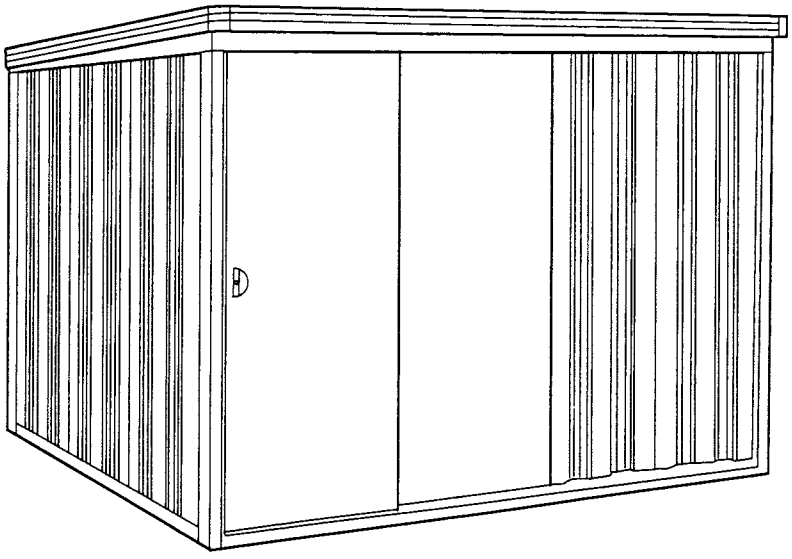
ダイケン物置「ゆたか」
組立説明書
DM-U　900・　972
1003・1102型

- この度はダイケン物置をお買い上げいただきありがとうございます。
- 組み立ての前に必ず当説明書をよくお読みのうえ組み立てて下さい。
- 組み立て完了後組立説明書と取扱説明書は大切に保管して下さい。

〈完成図〉



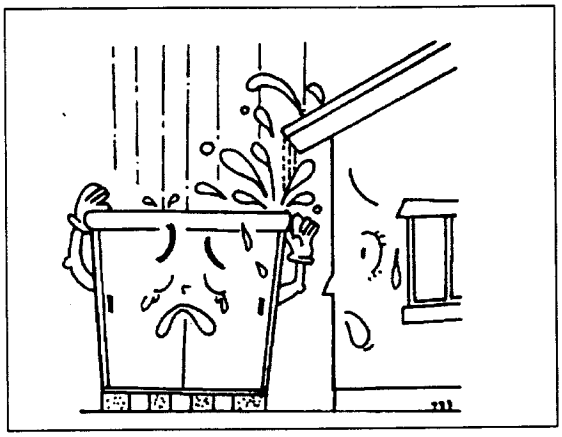
株式会社ダイケン

部品袋番号	

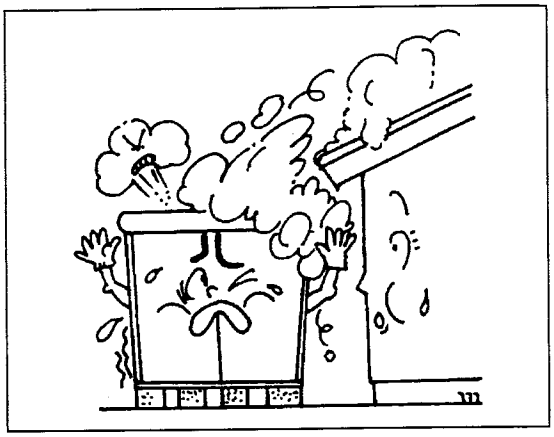
設置場所について

⚠注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

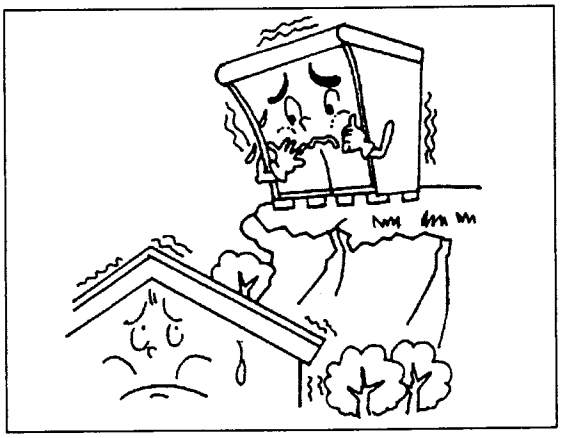
屋根から雨水が直接物置に落ちない場所へ設置してください。



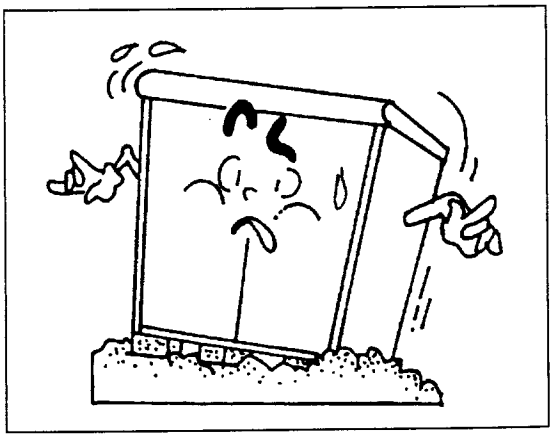
屋根から雪が落ちる場所へは設置しないでください。



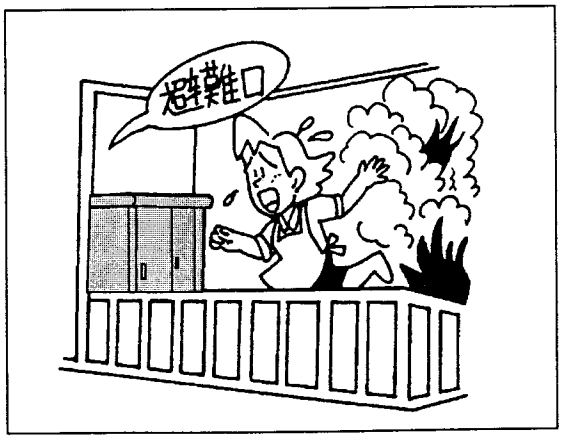
がけぎわなどくずれ落ちる恐れのある場所へは設置しないでください。



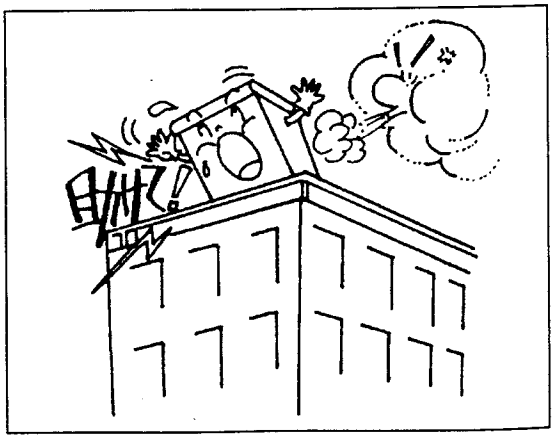
地盤がやわらかい場所は地固めを行ってから設置してください。



ベランダなどの避難口には、置かないでください。



屋上へは設置しないでください。

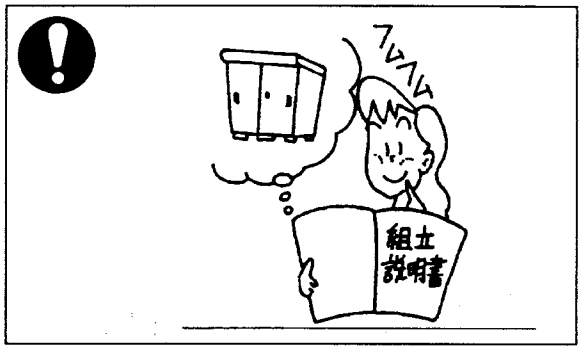


組立施工について

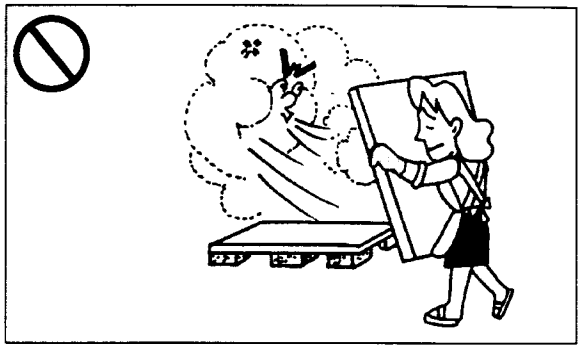
⚠注意

次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

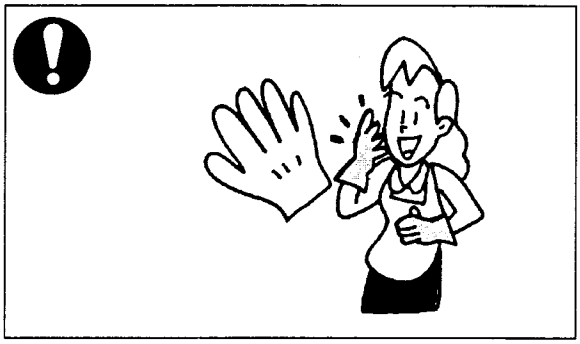
組立前に、まず組立説明書をよくお読みください。



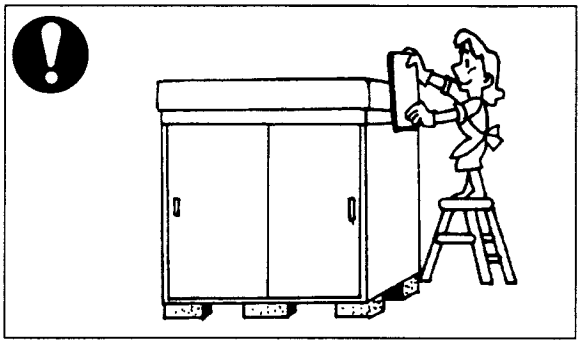
風の強い日は組立作業をしないでください。
又、組立途中では放置しないでください。



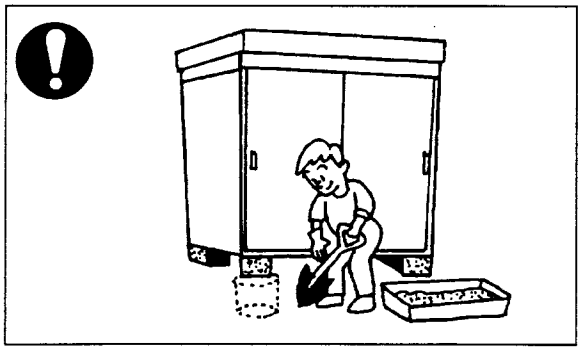
組立時は手袋を着用してください。



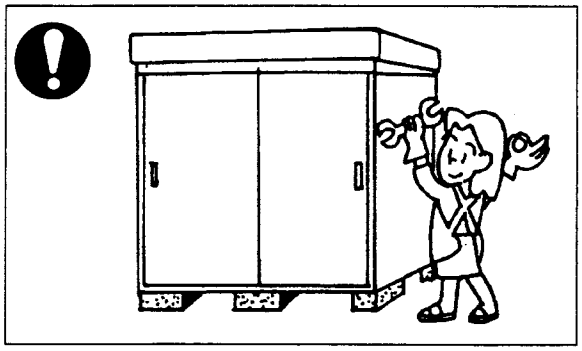
踏み台又は脚立などを使用してください。



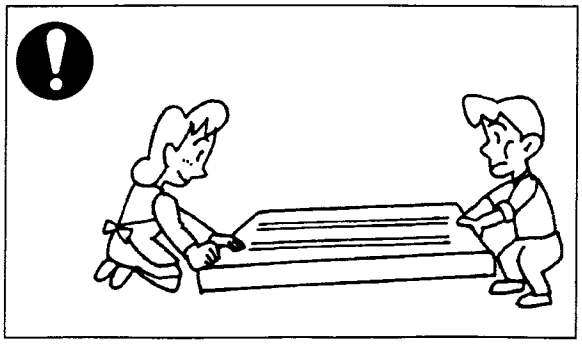
アンカー工事などの転倒防止工事は必ず行ってください。



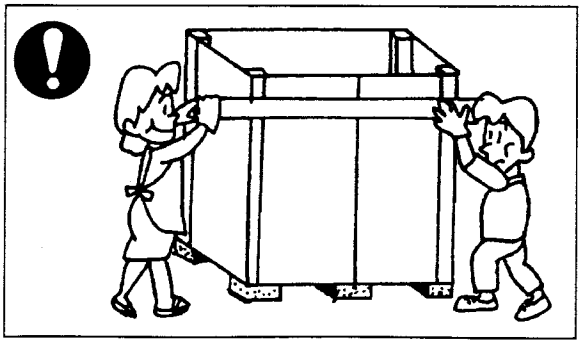
組立て後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか、もう一度確かめましょう。



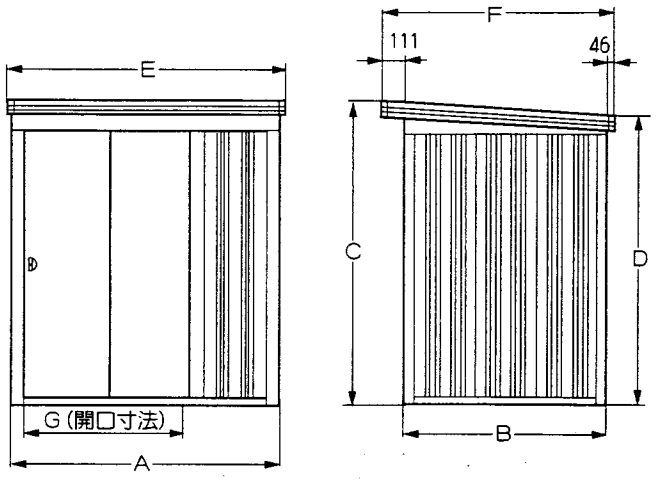
重量部材（特に３０ｋｇ以上）の運搬は、二人以上で行ってください



お客様が組立の場合は、二人以上で行ってください。



寸　法　図



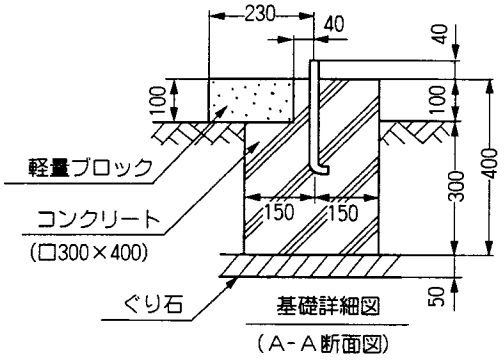
● 寸法表（単位mm）

	900型	972型	1003型	1102型
A	1720	2120	1320	2120
B	1720	1520	2520	1720
C	2051	2051	2049	2051
D	1951	1951	1952	1951
E	1780	2180	1380	2180
F	1877	1677	2677	1877
G	972	1104	704	1104

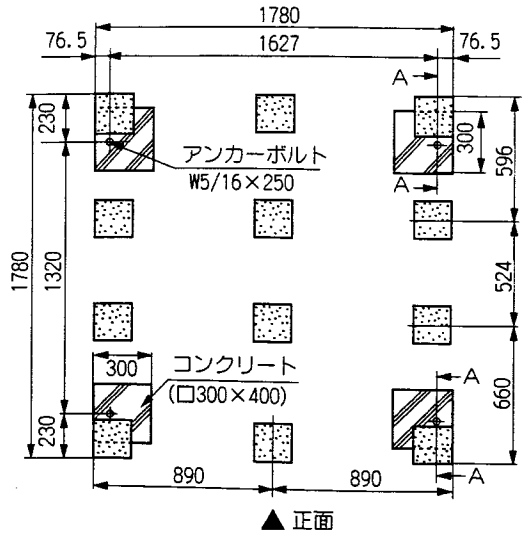
基礎・ブロックの施工

は軽量ブロックを表す（190mm ×190mm× H100mm）

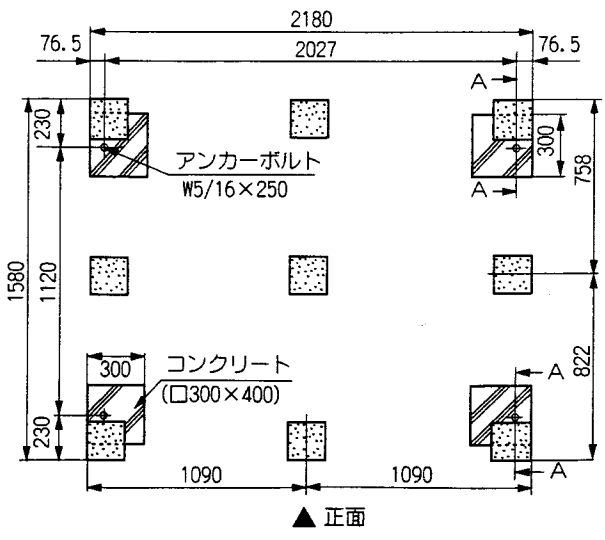
● 基礎・ブロックは水平・直角に必ず施工して下さい。



DM-U900型



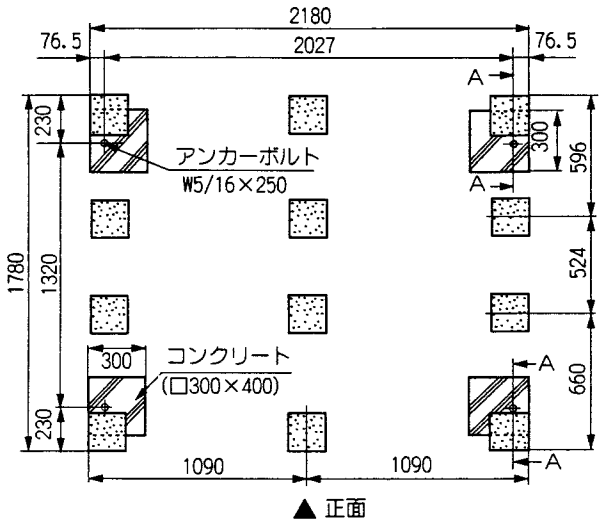
DM-U972型



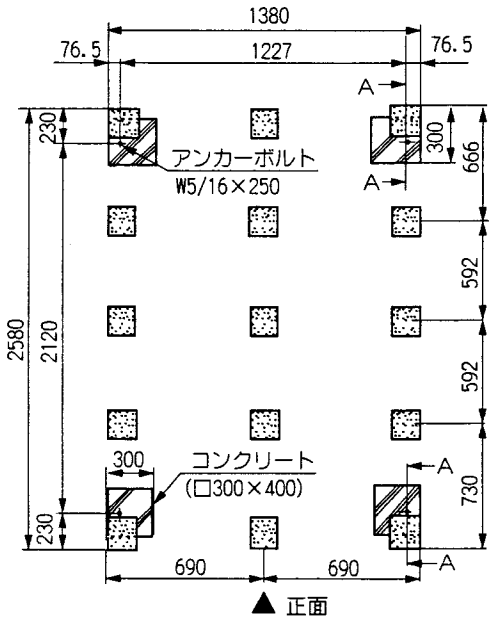
基礎・ブロックの施工

は軽量ブロックを表す(190㎜ ×190㎜× H100㎜)

DM-U1102型



DM-U1003型



梱包表

900・1003・1102型

No.	梱包名	部材名	数量 900型	1003型	1102型
①	棚板部品	棚板8型	4	−	4
		棚板12型	−	2	−
		棚受	8	4	8
		部品袋	1	1	1
		母屋受袋	1	1	1
②	間口部材	正面土台	1	1	1
		後部土台	1	1	1
		正面桁	1	1	1
		後部桁	1	1	1
		鼻隠し	1	1	1
		雨樋	1	1	1
		正面中柱	1	−	1
		戸当り	1	−	1
		床板押え	2	2	2
		棚受支柱	4	−	4
③	奥行部材	ビス袋	1	1	1
		左土台	1	1	1
		右土台	1	1	1
		左梁	1	1	1
		右梁	1	1	1
④	柱	正面左柱	1	1	1
		正面右柱	1	1	1
		後部左右柱	2	2	2
		正面中柱	−	1	−
		戸当り	−	1	−
		後部柱カバー	2	2	2
		棚受支柱	−	2	−
⑤	母屋	母屋	1	3	1
		根太	2	3	2
⑥	引戸	引戸A	1	1	1
		引戸B	1	1	1
⑦	壁バネル	壁バネル	6	8	7
⑧	壁バネル	壁バネル	7	8	8
⑨	屋根バネル	屋根バネル	4	3	5
		屋根バネル小	1	1	1
⑩	床板	床板	4	3	5
		床板調整	1	1	1

●多雪型の場合は、上記、⑤番梱包と差しかえになります。

⑤	耐雪母屋	耐雪母屋	1	3	1
		根太	2	3	2

972型

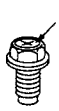
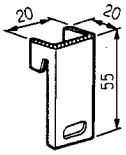
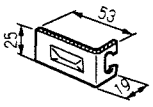
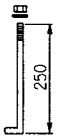
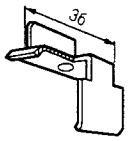
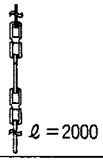
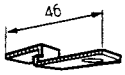
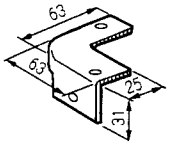
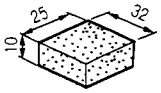
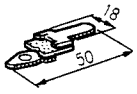
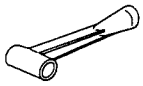
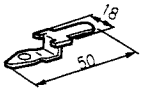
No.	梱包名	部材名	数量 972型
①	棚板部品	棚板8型	4
		棚受	8
		部品袋	1
		母屋受袋	1
②	間口部材	正面土台	1
		後部土台	1
		正面桁	1
		後部桁	1
		鼻隠し	1
		雨樋	1
		正面中柱	1
		戸当り	1
		床板押え	2
		棚受支柱	4
③	奥行部材	ビス袋	1
		左土台	1
		右土台	1
		左梁	1
		右梁	1
④	柱	正面左柱	1
		正面右柱	1
		後部左右柱	2
		後部柱カバー	2
⑤	母屋	母屋	1
		根太	1
⑥	引戸	引戸A	1
		引戸B	1
⑦	壁バネル	壁バネル	6
⑧	壁バネル	壁バネル	7
⑨	壁バネル小	壁バネル小	2
⑩	屋根バネル	屋根バネル	5
		屋根バネル小	1
⑪	床板	床板	5
		床板調整	1

●多雪型の場合は、上記、⑤番梱包と差しかえになります。

⑤	耐雪母屋	耐雪母屋	1
		根太	1

付属部品

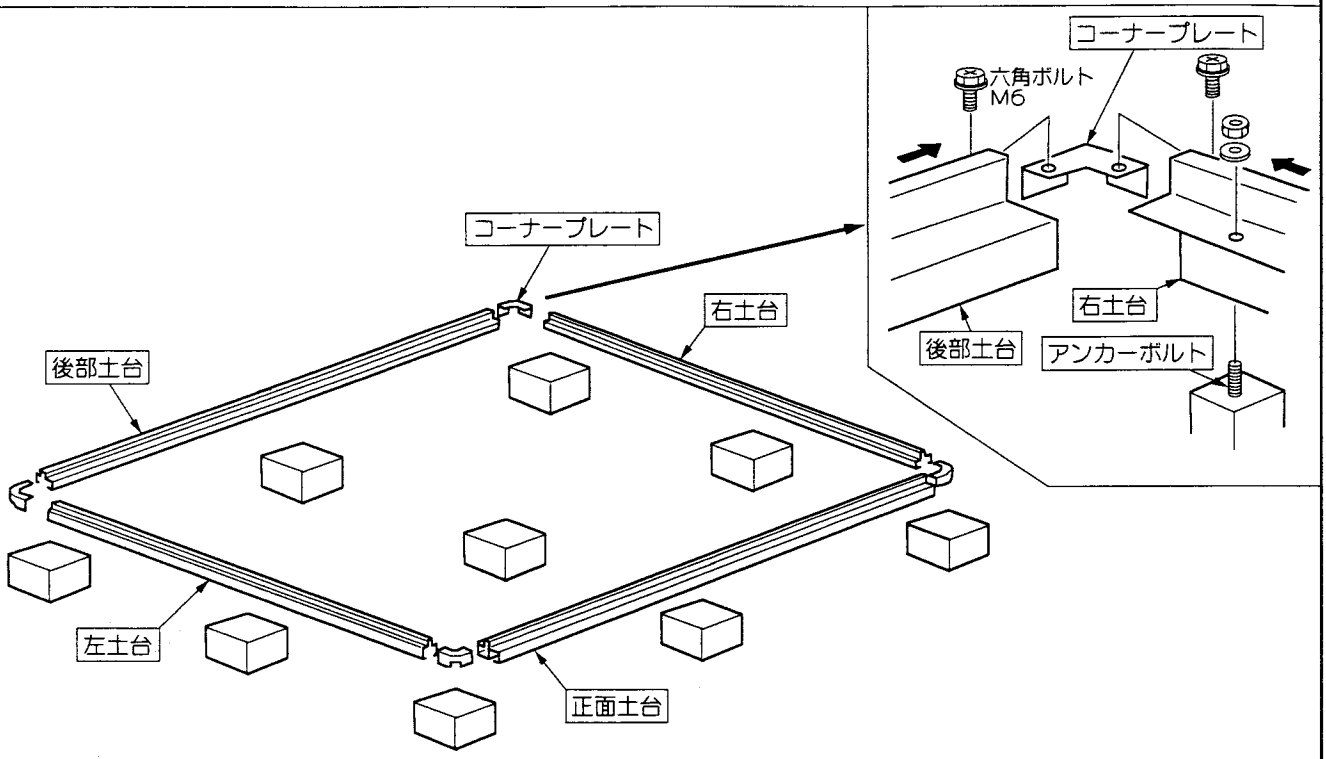
【部品袋】 ①番梱包に入っています。　　（単位mm）　　（ ）内は予備数です。

部品名	形状	数量 900	972	1003	1102	部品名	形状	数量 900	972	1003	1102
六角ボルト M6×16 (メッキ品)		132 (10)	144 (10)	147 (3)	144 (10)	棚受支柱 金具上 (メッキ品)		4	4	2	4
ナット M6用 (メッキ品)		3	3	3	3	棚受支柱 金具中 (メッキ品)		4	4	2	4
タッピンネジ 5×12 (メッキ品)		19 (1)	19 (1)	17 (1)	19 (1)	アンカーボルト		4	4	4	4
屋根金具 (メッキ品)		12	15	15	15	PEチェーン (白色)		1	1	1	1
金具A (メッキ品)			1	1	1	カギ穴キャップ (白色)		1	1	1	1
コーナープレート (メッキ品)		4	4	4	4	雨樋パッキン (グレー色)		2	2	2	2
壁金具小 パッキン付 (メッキ品)		35 (1)	39 (1)	41 (1)	39 (1)	T型スパナ		1	1	1	1
壁金具小 パッキンなし (メッキ品)		31 (1)	36 (1)	37 (1)	36 (1)						

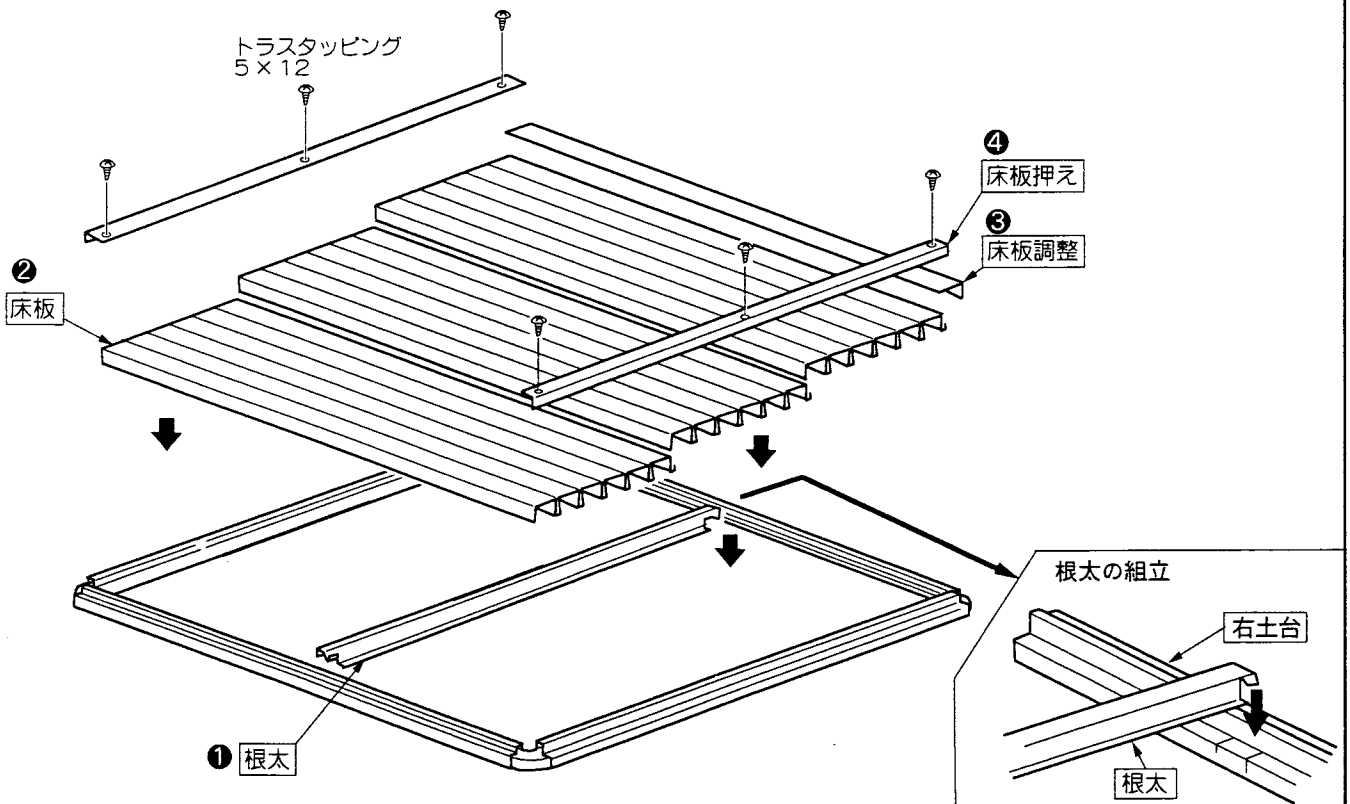
【ビス袋】 ③番梱包に入っています。

部品名	形状	数量 900	972	1003	1102	部品名	形状	数量 900	972	1003	1102
タッピンネジ 5×12 (グリーン色もしくはパープル色)		9 (5)	9 (5)	9 (7)	9 (5)	M6 六角ボルトキャップ (グリーン色もしくはパープル色)		29 (3)	29 (3)	29 (3)	29 (3)
ゴムパッキン (黒色)		9 (5)	9 (5)	9 (7)	9 (5)						

① 土台の組立



② 根太・床板の組立

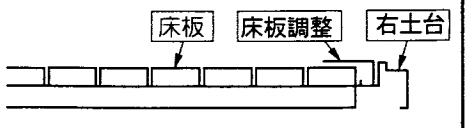


番号順に組立てして下さい。

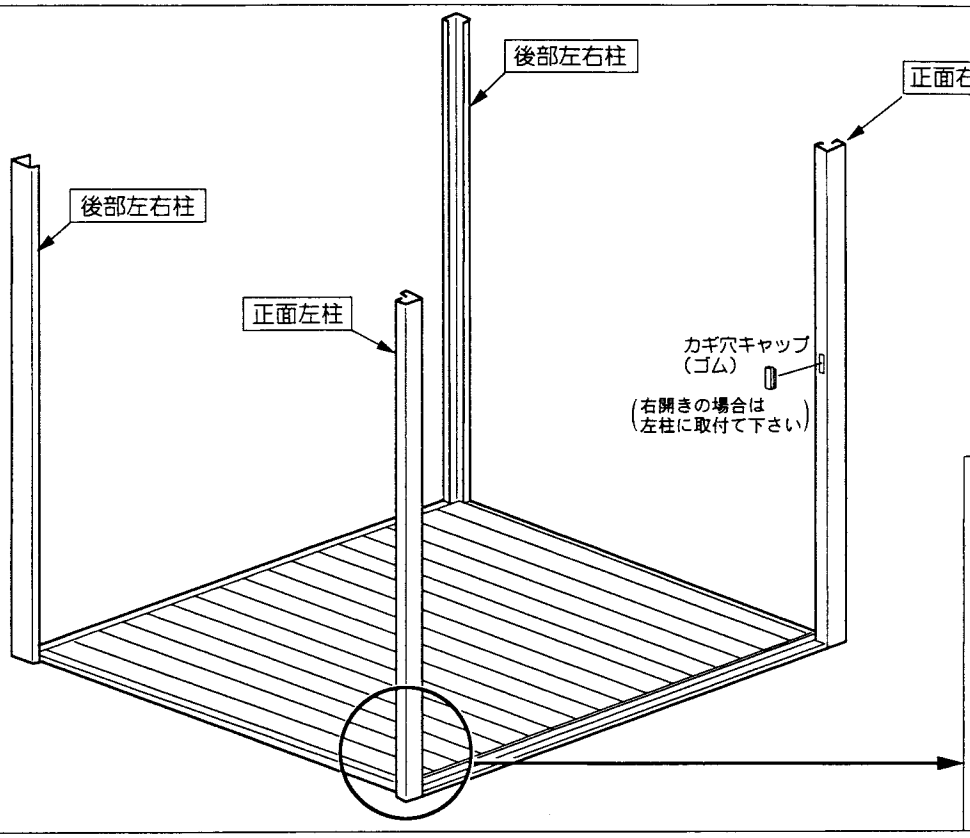
根太本数（本）

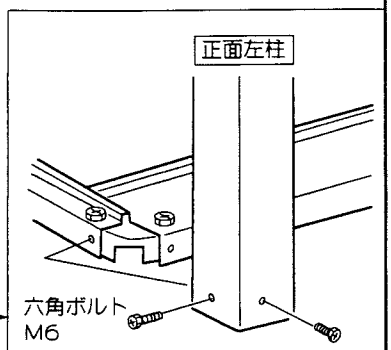
型式	900	972	1003	1102
本数	2	1	3	2

床板・床板調整納り



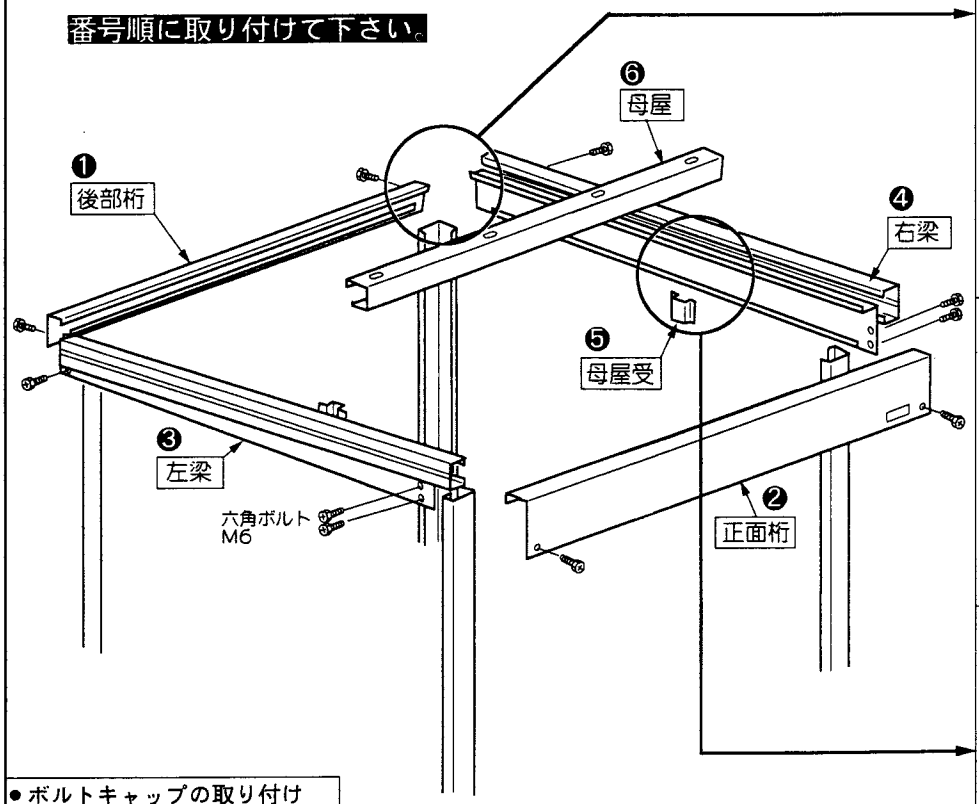
③ 柱の組立



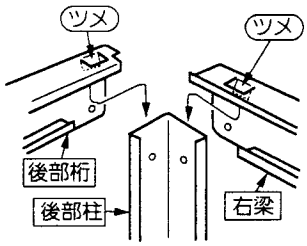


④ 桁・梁・母屋の組立

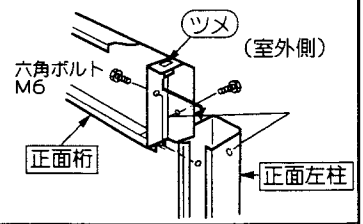
番号順に取り付けて下さい。



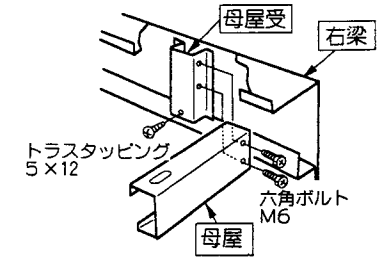
後部桁、左・右梁の両側のツメを柱の上に引っ掛けてからビス止めして下さい。



正面桁の両端についている金具のツメを柱の上に引っ掛けてから、ビス止めして下さい。

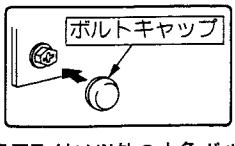


● 母屋受・母屋の取り付け



● 母屋受を取り付けてから母屋を取り付けて下さい。
● 左梁も同じ様に取り付けて下さい。

● ボルトキャップの取り付け



● 母屋取付け以外の六角ボルトにはめ込んで下さい。

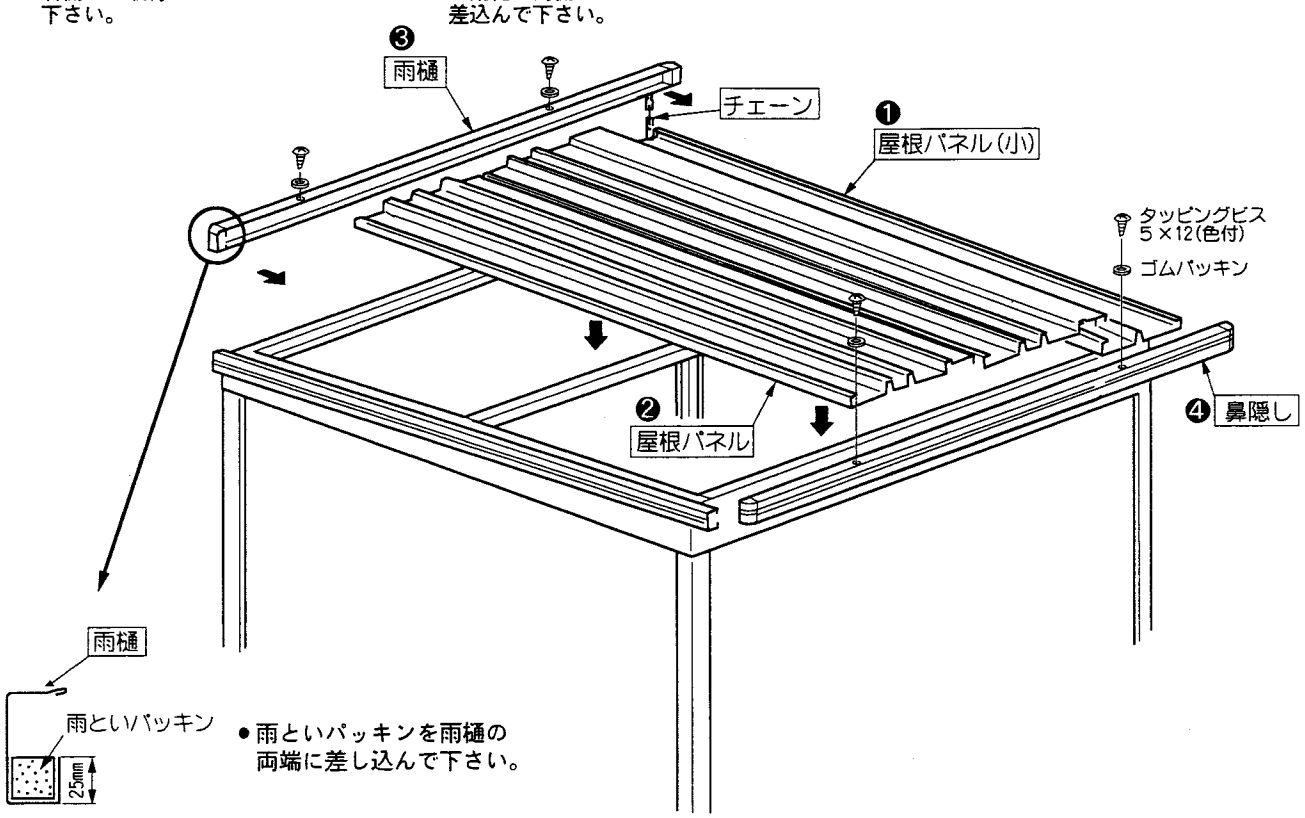
⑤ 屋根パネル・鼻隠し・雨樋の組立

取付手順

屋根パネル(小) ➡ 屋根パネル ➡ 雨 樋 ➡ 鼻 隠 し ➡ 屋 根 金 具

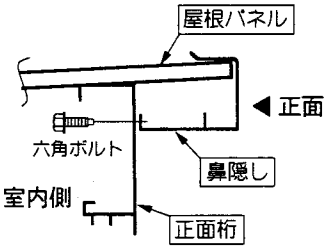
※右側から取付けて下さい。

※取付後屋根パネルを雨樋の内側まで差込んで下さい。

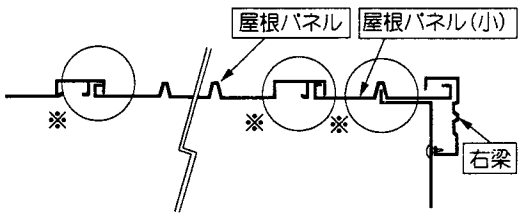


● 雨といパッキンを雨樋の両端に差し込んで下さい。

● 正面上部

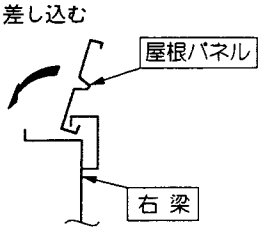


② 屋根パネル・屋根パネル(小)の納り



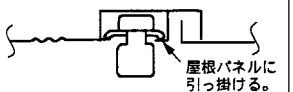
※必ず重なり方を確認して下さい。
重なりを間違いますと屋根金具が取り付けできなくなります。

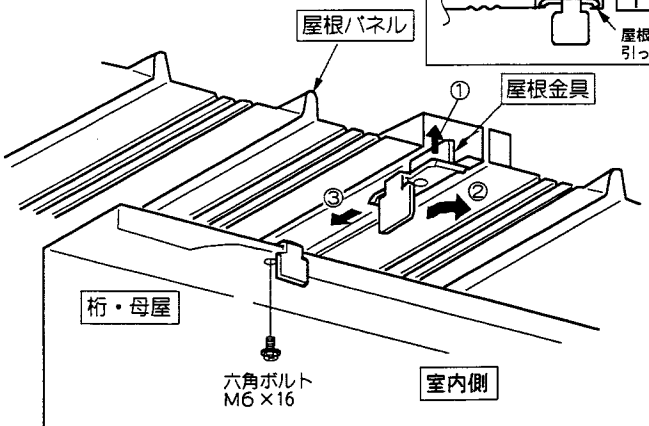
① 屋根パネル(小)と梁の納り



⑤ 屋根金具取付

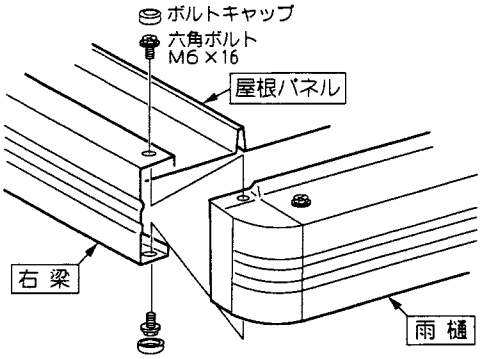
● 屋根パネル・屋根金具納り図





● 室内側(天井)から差し込み取付て下さい。
● 屋根金具の向きに注意して取付て下さい。

③・④ 雨樋・鼻隠しの取付

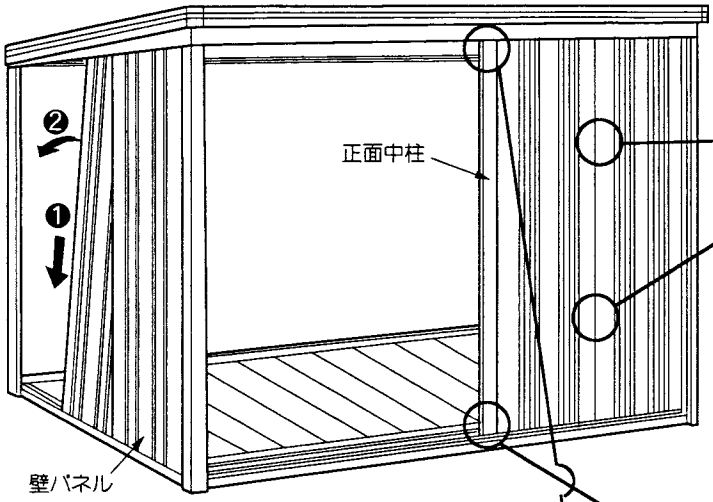


● 正面側の鼻隠しも同じ様に取付て下さい。
● 六角ボルト取付後ボルトキャップをはめ込んで下さい。

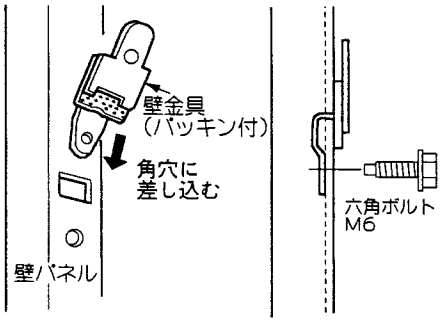
⑥ 壁パネル・正面中柱の取付

●引戸の開き方向により正面側の壁パネルの位置が変わります。左開きの時は壁パネルを左側に取付けして下さい。

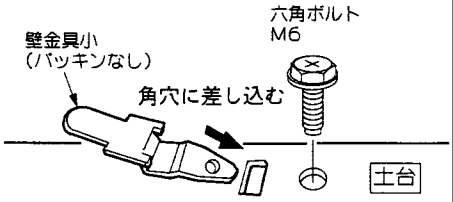
正面中柱は正面側の壁パネルを取付後に取付して下さい。



●壁と壁及び壁と柱の取付は、下図の様に壁金具小(パッキン付)を使用下さい。

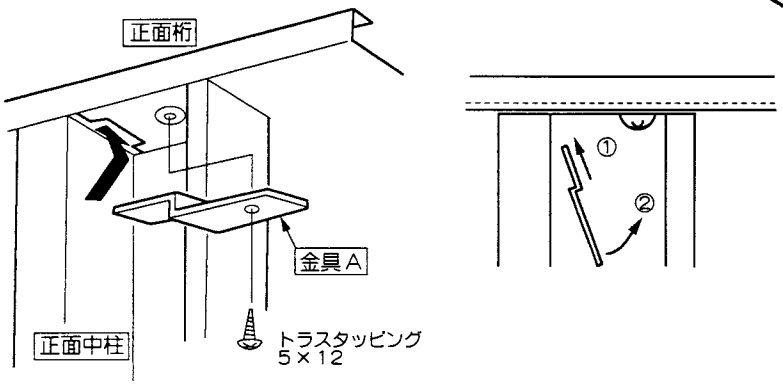


●壁の上下(土台及び桁、梁)の取付は下図の様にパッキンなしの壁金具小を使用下さい。

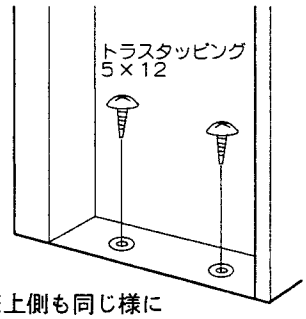


●正面中柱の取付（型式によって違います）

972・1003・1102型



900型

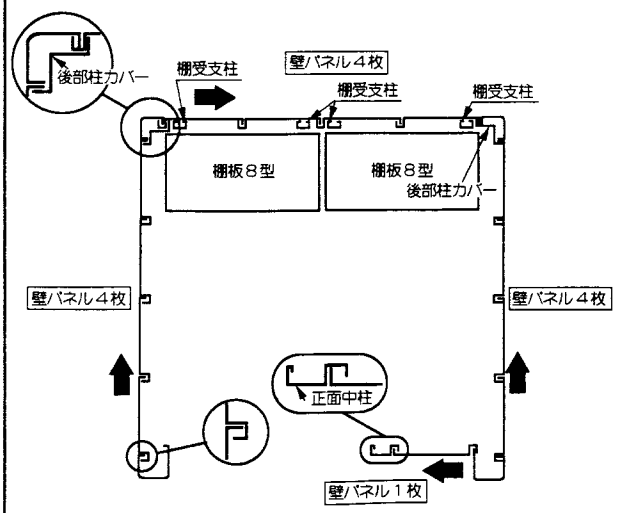


※上側も同じ様に
取付て下さい。

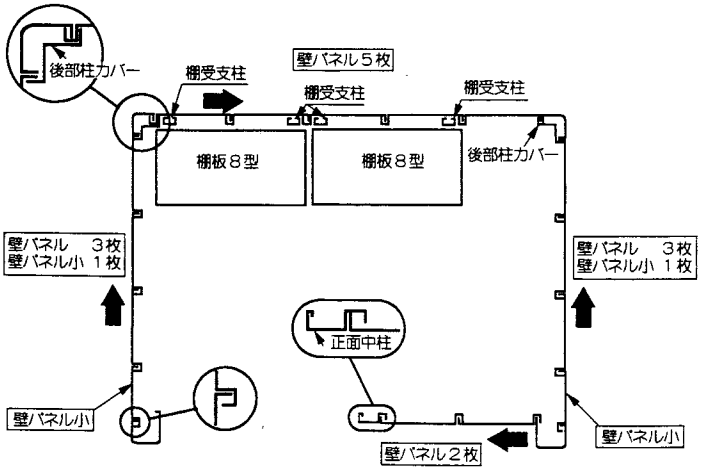
●壁パネル組合せ(➡の方向と枚数を確認して取付下さい。)
※棚板の取付けに関しては12ページを参照して下さい。

壁金具小は上下・左右全箇所取付けして下さい。
尚、共通性を持たせるため、壁パネルには、取付け穴があり、相手部材にない時は取付け不要です。

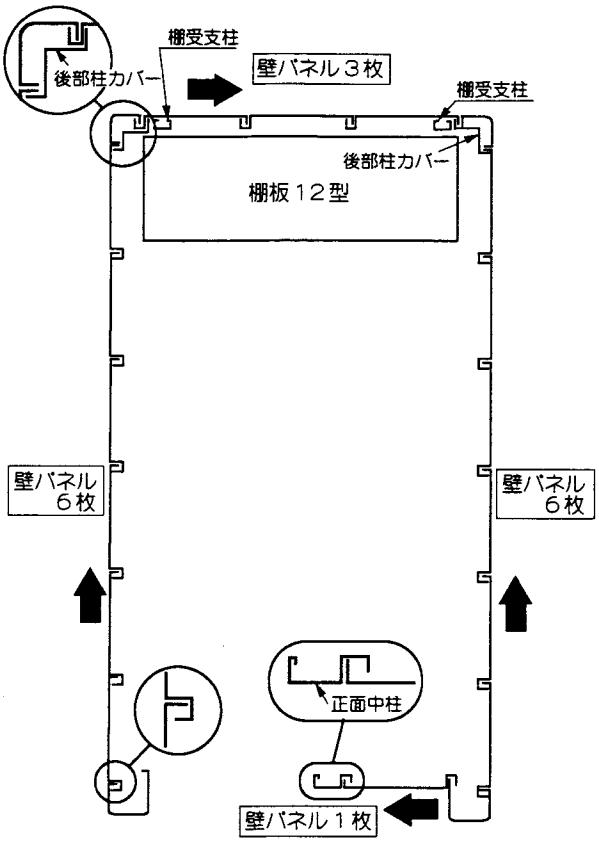
900型



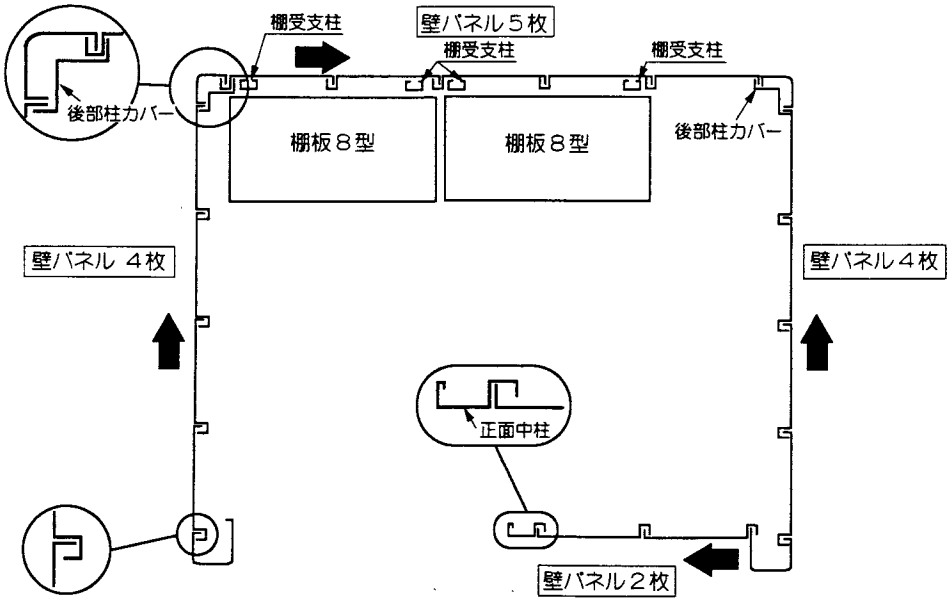
972型



1003型


後部柱カバー
棚受支柱
壁パネル３枚
棚受支柱
後部柱カバー
棚板１２型
壁パネル
６枚
壁パネル
６枚
正面中柱
壁パネル１枚

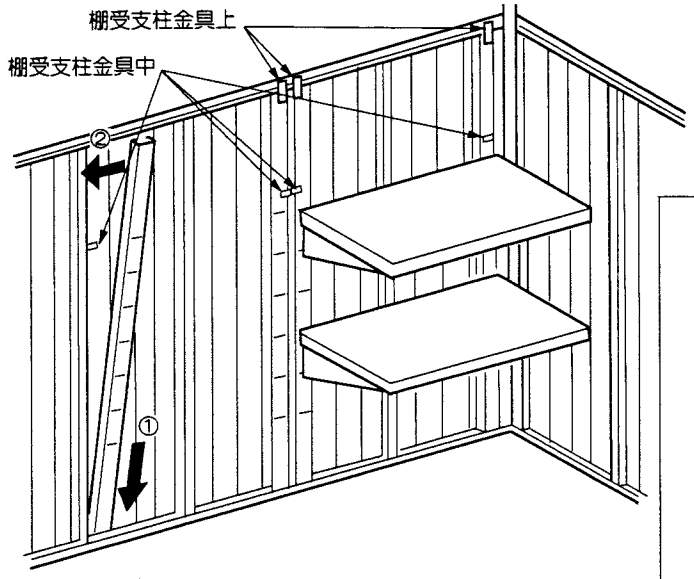
1102型


後部柱カバー
棚受支柱
壁パネル５枚
棚受支柱
棚受支柱
後部柱カバー
棚板８型
棚板８型
壁パネル ４枚
壁パネル４枚
正面中柱
壁パネル２枚

⑦ 棚板の組立 〔型式により棚板の長さと枚数が異なります〕

取付順序

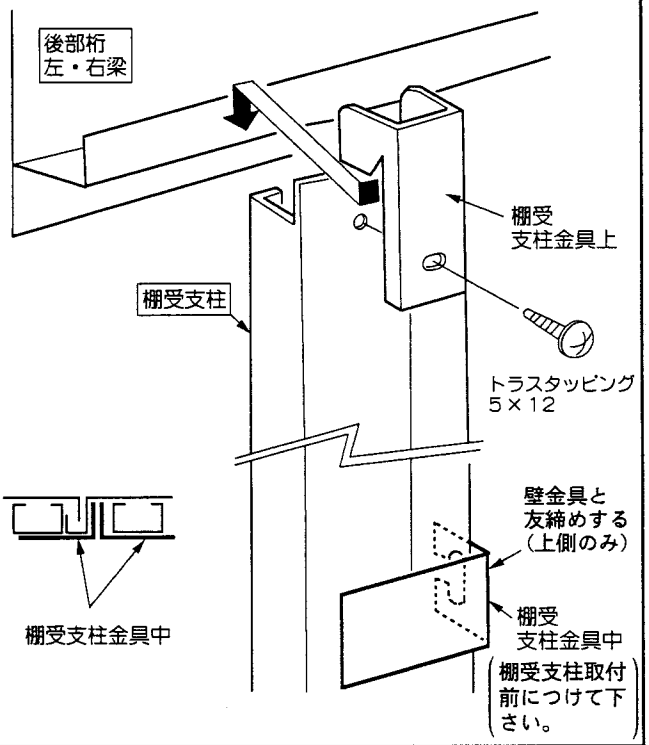
1 棚板の取付位置を決め、棚受支柱を棚受支柱金具上と中で取付ける。
2 棚受を支柱の角穴にあわせて差し込む。　1列2段を標準として
　取付て下さい。正面の壁パネル以外の3面に取付できます。
3 棚板を棚受にのせる。



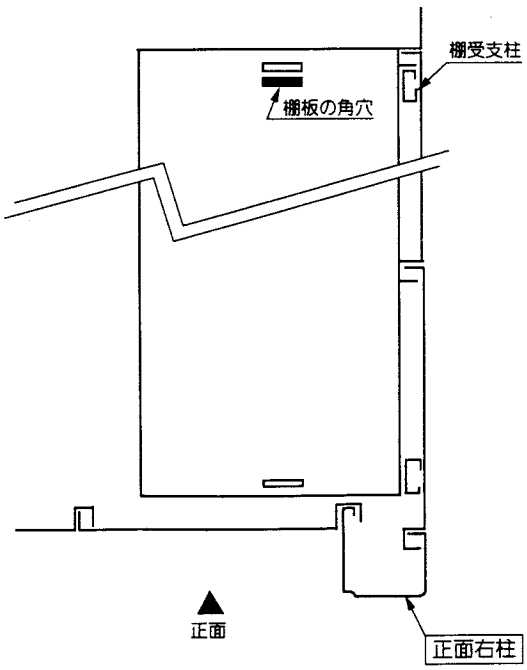
⑦－1

● 棚受支柱の固定

棚受を取付けてから本締めして下さい。

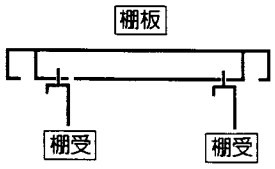


左右壁の正面に棚板を取付る場合
内側に棚受を差し込む

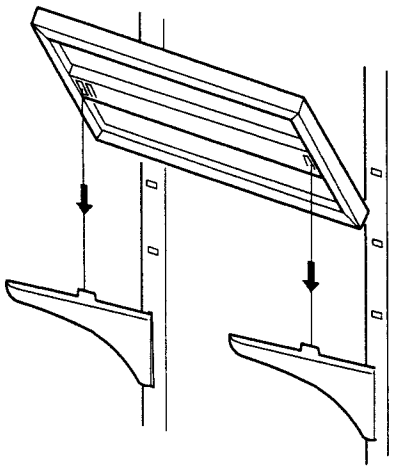


⑦－2

● 棚板と棚受の納り

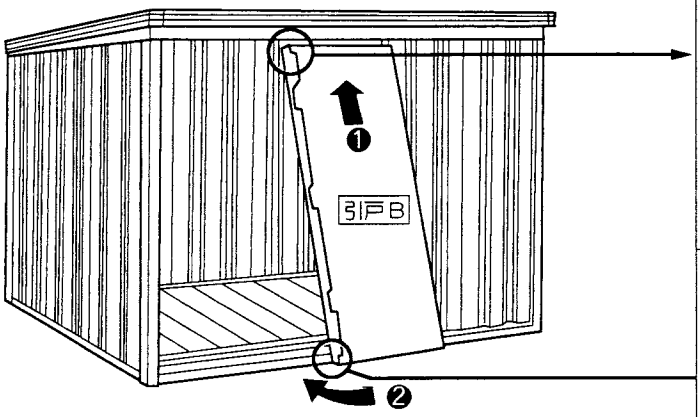


※棚板の角穴に棚受を差し込む。

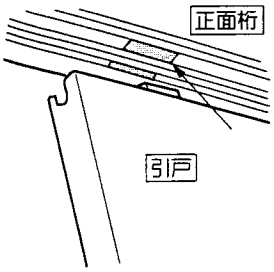


⑧ 引戸・戸当りの取付

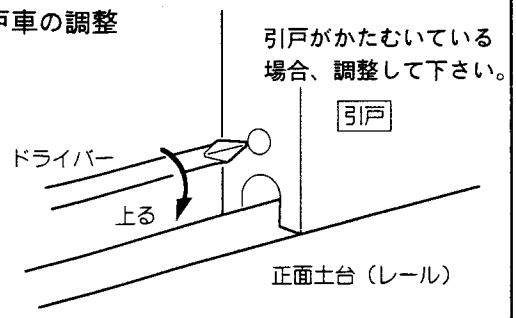
組立は番号順に行なって下さい。



引戸B、引戸Aの順に正面桁の角穴に、
ドア上部のガイドを合わせてはめ込みます。

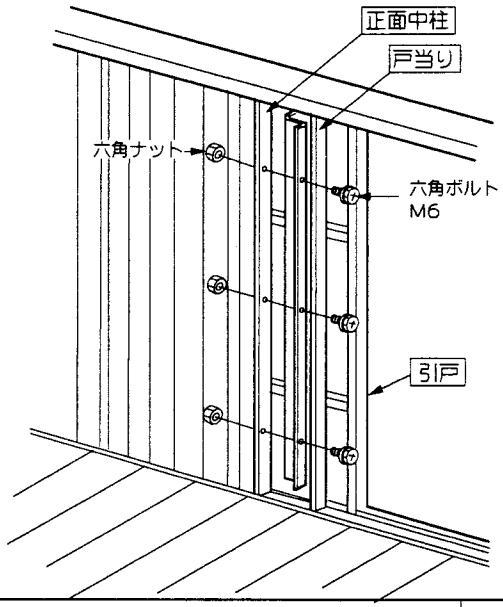


● 戸車の調整

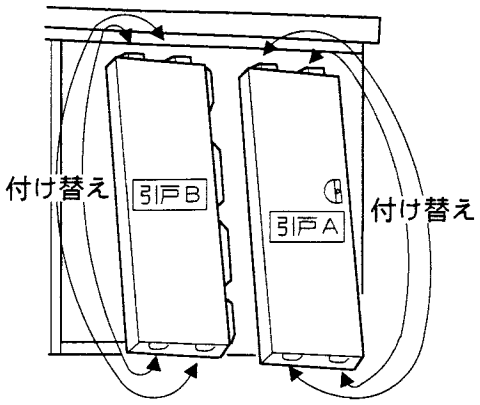


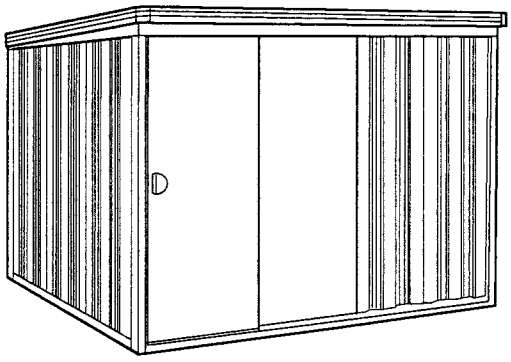
● 戸当りの取付

※引戸の取付けが終わりましたら、ドアを移動して
戸当り を 正面中柱 に取付けて下さい。



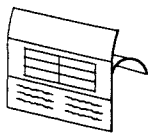
● 開ける方向を変更する場合(右開き)は、
戸車 及び ドアガイド を上下付け替えて
下さい。





メッセージシールの貼付

メッセージシールに必要事項を記入の上、
物置の庫内に貼り付けて下さい。



● 最後に各部のビス止めわすれ、ゆるみ等がないか確認して下さい。
● 以上で完成です。
※鍵は取っ手にテープ止めされています。
※台風や強風時には、ドアの鍵を必ずかけて下さい。